

平成20年度 補正予算

平成21年度 当初予算

(政府案)

外務省所管

一般会計予算

概要と重点事項

平成20年12月24日

目次

-
- 平成20年度補正予算 ……3
 - 政府案と過去の推移 ……7
 - 重要課題推進枠・復活重点事項 ……8
 - 重点外交政策予算
 - 1. オールジャパンの総力を結集した機動的な外交 ……9
 - 2. 平和協力国家として、国際社会の平和と発展への一層の貢献 ……13
 - 3. 外交力の基盤強化 ……16
 - ODA予算 ……18
-

平成20年度補正予算

外務省所管補正予算 2,241億円
(うちODA 1,060億円)

過去の推移	平成19年度: 2,078億円	(765億円)
	平成18年度: 1,833億円	(862億円)
	平成17年度: 1,304億円	(323億円)
	平成16年度: 939億円	(155億円)

□ 平和構築・人道支援

(カッコ内はODA)

アフガニスタン人道復興支援拠出金

301億円(291億円)

- 安定と復興の正念場にあるアフガニスタンにて来年の大統領選挙を成功裏に実施するための治安改善支援、食料危機に伴う人道支援等のための拠出。

原子力安全基金(NSA)拠出金

6億円

- チェルノブイリ事故を契機とした旧ソ連・東欧諸国の原子力発電所の安全性を確保するための緊急措置。

ボスニア和平履行評議会(PIC)拠出金

2億円

- コソボ情勢等の不安定化により、明年6月まで継続されることとなった上級代表事務所の運営経費を拠出。

□ アフリカ緊急支援(食料、環境、平和構築)

食料危機対応経費 299億円(299億円)

- 食糧援助規約上の義務となる食糧援助を実施するとともに、深刻化する食料危機に対応するための経費。

気候変動対策関連経費 32億円(32億円)

- 「クールアース・パートナーシップ」への賛同国が増える中、次期枠組み交渉開始を見据え、アフリカ諸国からの要請に早急に応えるため環境プログラム無償を拡充。

アフリカ紛争解決・平和構築対応経費

5億円(5億円)

- スーダン、ソマリアの紛争の終結のため、アフリカの平和維持能力を向上させるための支援。

□ アジア緊急支援(経済、防災、EPA)

ASEAN緊急支援拠出金 70億円(70億円)

- － 世界的な金融混乱のアジアへの悪影響を回避すべく、景気後退の影響を受けやすい分野・人々への支援等を緊急に行うための経費。

アジア大規模自然災害対策支援拠出金

30億円(30億円)

- － ミャンマーのサイクロン被災を踏まえ、防災復旧・復興支援及びASEAN防災ネットワーク構築を支援するための経費。

インドネシア看護師・介護福祉士日本語研修事業

8億円(8億円)

- － インドネシアとの経済連携協定に基づき、看護師・介護福祉士日本語研修事業を実施するための経費。

クメール・ルージュ裁判国際連合信託基金拠出金

20億円(20億円)

- － 深刻な資金不足に陥っているクメール・ルージュ裁判の継続のための経費。

朝鮮半島エネルギー開発機構拠出金 90億円

- － 日本政策金融公庫のKEDOへの債権の償還に係る経費。

□ 感染症対策

世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金

220億円(220億円)

- ー アジア・アフリカ地域を対象とした緊急医療支援経費。
(本年5月総理から「当面5.6億ドルの拠出」を表明)

新型インフルエンザ対策

10億円(1億円)

- ー 新型インフルエンザが発生した場合に備え、海外邦人保護の観点から、(1)抗インフルエンザ薬等の備蓄、(2)邦人保護従事者に必要な感染防護具等の買上げ等を行うための経費。

□ その他

国際連合分担金

65億円(8億円)

国際連合平和維持活動(PKO)分担金

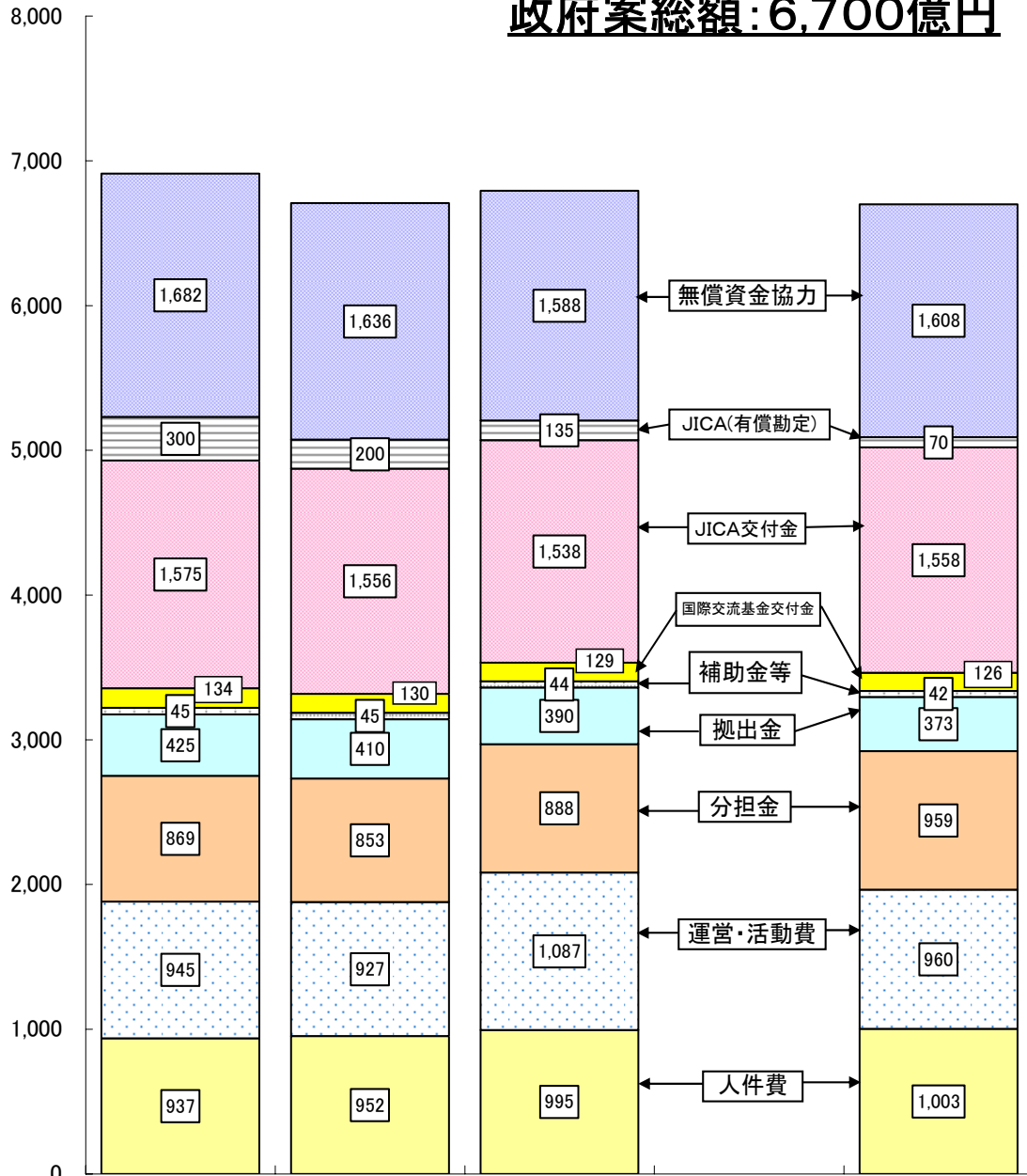
1,084億円(76億円)

平成21年度外務省予算

(政府案総額と過去の推移)

億円

政府案総額: 6,700億円



平成18年度: 6,912億円 (▲ 2.2%) 平成19年度: 6,709億円 (▲ 2.9%) 平成20年度: 6,794億円 (+ 1.3%)

平成21年度政府案: 6,700億円 (▲ 1.4%)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度政府案
うちODA	4,733 (▲ 3.0%)	4,544 (▲ 4.0%)	4,407 (▲ 3.0%)	4,363 (▲ 1.0%)
非ODA	2,179 (▲ 0.5%)	2,166 (▲ 0.6%)	2,386 (+ 10.2%)	2,336 (▲ 2.1%)

四捨五入の関係上合計に不一致あり。

重要課題推進枠・復活重点事項

【重要課題推進枠：119.0億円】

- 地球温暖化・水資源のためのODA
 - 環境プログラム無償 25.0億円
 - JICA交付金政策増 25.0億円
- 農業・食糧支援のためのODA
 - 食糧援助 30.0億円
 - JICA交付金政策増 15.0億円
- 外交力の強化等を通じた対外発信力の強化
 - 機構・定員 15.9億円
 - 平和構築人材育成事業 3.2億円
 - 国際交流基金交付金政策増 3.1億円
 - 在外公館の特別修繕 1.8億円

【復活重点事項：11.7億円】

- 査証WAN 7.7億円
- 在外公館の新営工事 3.9億円

1. オールジャパンの総力を結集した 機動的な外交

(1) G8北海道洞爺湖サミットとTICAD IVの成果 の着実な実施

- 環境・気候変動問題への取組:2013年以降の枠組み構築に向けた取組推進、「クールアース・パートナーシップ」の推進等 118.4億円(72.8億円)
- ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けた貢献:アフリカを始めとする途上国における成長の加速化、保健、水・衛生、教育分野の取組強化 1,125.0億円(1,080.4億円)

[20年度補正予算]

- ・ 食料危機対応経費 299億円
- ・ 気候変動対策関連経費 32億円
- ・ アフリカ紛争解決・平和構築対応経費 5億円
- ・ 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金 220億円

1. オールジャパンの総力を結集した 機動的な外交

(2) ODAの戦略的拡充と国際競争力のある援助実現に向けた取組強化

- 我が国の政策実現のためのODAの活用・拡充、国際公約の着実な実施 395.9億円(489.6億円)
- JICAを通じたODA実施体制の強化、効率的で国際競争力のある援助の実施 42.0億円(40.8億円)

(3) 経済上の国益の確保・増進

- 資源・食料安全保障 79.5億円(111.5億円)
- グローバル経済に対応した国際ルール作り(WTO等) 62.9億円(91.2億円)
- 経済連携推進 2.7億円(4.6億円)

[20年度補正予算]

- ・ インドネシア看護師・介護福祉士日本語研修事業 8億円

1. オールジャパンの総力を結集した 機動的な外交

(4) タイミングをとらえた機動的な外交の実施

- 米新政権発足の機会をとらえた更なる日米関係強化
0.8億円(0.9億円)
- 東アジア・ラテンアメリカ協力フォーラム外相会合の
日本開催を通じたアジアと中南米との協力強化
0.6億円(0.1億円)
- 交流年、周年事業等の活用を通じた二国間関係の
深化：日メコン交流年、日ドナウ交流年、日蘭通商
400周年、日墨交流400周年等 1.0億円(1.0億円)

(5) 海外邦人・日本社会の安全と安心

- 多様化する危険・脅威への対応 3.9億円(3.5億円)
- 新型インフルエンザ対策 1.3百万円(0.8百万円)
- 査証体制強化 11.1億円(8.5億円)

1. オールジャパンの総力を結集した 機動的な外交

(6) 知的交流の抜本的強化、日本語普及・日本文化 発信を通じた日本理解の増進

- 有識者層との相互交流強化 19.0億円(19.4億円)
- 日本語普及の拡大 5.3億円(1.8億円) *
- 国際交流基金の強化 125.7億円(128.9億円) *

2. 平和協力国家として、国際社会の平和と発展への一層の貢献

(1) 我が国の安全及び国際社会の平和と発展に向けた取組

- PKOやテロとの闘い等国際平和協力活動への協力 64.2億円(64.1億円)
- 平和構築分野の人材育成 3.4億円(2.0億円)
- 人間の安全保障の推進 121.9億円(119.5億円)
- 大規模災害への対応 45.8億円(37.1億円)
- 紛争予防、人道支援等の推進 214.7億円(216.3億円)

〔20年度補正予算〕

- ・ アフガニスタン人道復興支援拠出金 301億円

2. 平和協力国家として、
国際社会の平和と発展への一層の貢献

(2) 日米同盟とアジア近隣諸国との関係の強化(周辺地域の平和・安定確保、及び拉致問題)や領土問題等諸懸案の解決

- 日米同盟の強化 1.3億円(1.2億円)
- 第5回太平洋島サミット開催経費 0.7億円(新規)
- APEC日本開催関連経費 2.4億円(新規)
- 拉致問題や領土問題の解決 15.8億円(16.5億円)

[20年度補正予算]

- ・ ASEAN緊急支援拠出金 70億円
- ・ アジア大規模自然災害対策支援拠出金 30億円

2. 平和協力国家として、 国際社会の平和と発展への一層の貢献

(3) 国連等における積極的貢献、我が国国益実現に向けての国際的合意形成と国際社会での責任を共有する関係国との連携強化(「法の支配」の推進など)

- 国際機関の活用 391.9億円(406.9億円)
- 国際刑事裁判所(ICC)分担金 29.4億円(33.7億円)
- クメール・ルージュ裁判国連信託基金拠出金 3.6億円(新規)

(4) 軍縮・不拡散、原子力の平和利用及び科学技術分野での国際協力の推進

- 我が国及び国際社会の平和と安全の確保のための軍縮・不拡散 37.9億円(41.0億円)
- 原子力の平和利用促進経費 85.6億円(93.0億円)
- 科学技術外交推進経費 33.8億円(1.1億円)

[20年度補正予算]

・原子力安全基金(NSA)拠出金 6億円

3. 外交力の基盤強化

(1) 外交力強化の核となる外交実施体制の充実

- 在外公館とマンパワーの増強
 - 機構: 5大使館新設(在パラオ大、在エストニア大、在キルギス大、在ベナン大、在ルワンダ大)
 - 外務省定員: 100人純増
 - 在外公館のスタッフ: 純増135人(専門調査員、派遣員、現地職員等)

- 在外公館の体制強化
 - 現地職員の適正な待遇の確保
183.4億円(186.7億円)
 - 警備強化
54.7億円(60.5億円)
 - 施設費
50.2億円(48.5億円)

3. 外交力の基盤強化

(2) 戦略的情報発信の強化

- 効果的広報の実施 7.1億円(7.8億円)
- 外国メディア対策力強化 5.5億円(5.8億円)

(3) 情報の収集・分析機能の強化並びに情報の防護及び有効活用のための基盤整備

- より組織的な対外情報収集活動強化 5.7億円(5.9億円)
- 情報防護体制強化 102.0億円(85.3億円)
(うちLAN関係経費38.5億円(24.1億円)を含む。)

平成21年度 ODA予算

ODA予算政府案総額 4,363.2億円
(4,407.3億円、▲1.0%)

- 無償資金協力 1,608.4億円(1,588.0億円)
 - 一般プロジェクト無償
(重点事項:保健・感染症、水、教育、社会基盤整備) 635.6億円(655.3億円)
 - 食糧援助 154.0億円(123.4億円)
 - 環境プログラム無償 40.0億円(15.0億円)
- JICA交付金 1,558.5億円(1,537.9億円)
- ODA分担金・拠出金 502.3億円(511.4億円)

ODA予算政府案の概要

(単位:億円)

	20年度予算	21年度政府案	
	対19'増▲減率	対20'増▲減額	対20'増▲減率
無償資金協力	1,588.0 ▲2.9%	1,608.4 20.4	1.3%
JICA交付金	1,537.9 ▲1.2%	1,558.5 20.6	1.3%
JICA(有償勘定)	135.0 ▲32.5%	70.0 ▲65.0	▲48.1%
分担金・拠出金	511.4 ▲3.8%	502.3 ▲9.1	▲1.8%
援助活動支援等	635.0 2.5%	624.0 ▲11.1	▲1.7%
計	4,407.3 ▲3.0%	4,363.2 ▲44.1	▲1.0%

(注)四捨五入の関係上合計に不一致あり。